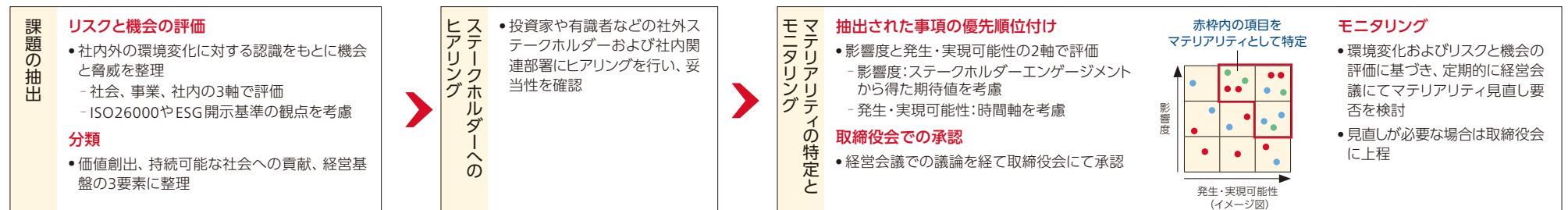


重要課題 (マテリアリティ)

SHIONOGIは、事業活動を通じて社会課題や医療ニーズに応えることで、社会に必要とされる企業として持続的に成長し、その成果をステークホルダーと共有することを目指しています。その実現に向けて、社内外の環境変化やリスクと機会、SHIONOGIの現状と課題を踏まえ、優先的に取り組むべき重要課題 (マテリアリティ) を特定し、取り組みを推進しています。

マテリアリティ特定プロセス



マテリアリティ	指標	2025年度実績	2024年度実績	2025年度の主な取り組み
顧客・社会に新たな価値を創出するために 取り組む重要課題	① 感染症の脅威からの解放 P.18、20、33、37	- 薬剤耐性 (AMR) をはじめとする感染症薬の適正使用の推進 - 感染症治療薬の成長／売上高 - 感染症トータルケアプラットフォームの実現／ワクチンのグローバル展開と売上高 - 今後のパンデミックに備えるべき重点感染症※1への取り組み	- 感染症薬 (国内) 436億円 - 感染症薬のパイプライン 20品目 - 感染症予防ワクチンのパイプライン 6品目	614億円 20品目 6品目
	② 健やかで豊かな人生への貢献 P.28	- QOL疾患治療薬の成長／売上高 - QOL疾患トータルケアプラットフォームの実現／DTxの医療への浸透 - 子ども・保護者・就労者への適切な情報と支援の提供	- QOL疾患関連の売上 (国内)※2 799億円 - QOL疾患治療薬のパイプライン 46品目	374億円 26品目
	③ イノベーションの創出 P.20	- 技術・イノベーションの創出／社会実装 - 新たにPhase2/3に移行した品目数 - Phase2/3の品目数 - 医薬品以外のソリューションの創出	- パイプライン数 66品目 - 医薬品、ワクチン以外のヘルスケアソリューション 7件	46品目 7件
	④ 医療アクセスの向上 P.43	- LICs／LMICsへの製品・サービスの提供 - 医療へのアクセス改善に向けた地域基盤・情報提供の強化 - 未承認国における医薬品アクセスの確保	- MPPとの提携を通じたエンシトレルビルの提供可能国 117カ国 - GARDP、CHAIとの提携を通じたセフィデロコルの提供可能国数 135カ国 - ヴィーブ社によるドルテグラビル、カボテグラビルの提供国数 140カ国以上	117カ国 135カ国 140カ国以上

※1 公衆衛生危機管理において、救命、流行の抑制、社会活動の維持等、危機への医療的な対抗手段となる重要性の高い医薬品や医療機器等 (MCM) の利用可能性を確保することが必要な感染症

※2 国内医療用医薬品売上のうち、感染症薬の売上を除いた金額

重要課題 (マテリアリティ)

マテリアリティ		指標	2025年度実績 ※1		2024年度実績 ※1	2025年度の主な取り組み
持続可能な社会へ貢献するために 取り組む重要課題	⑤ 責任ある製品・サービスの提供 📄 P.33、56	・品質課題を起因とした顧客不利益の回避 ・連続生産技術の複数製品への展開／DX化による高品質・安定供給の実現 ・製品・サービスによる重大な健康被害ゼロ	重大な健康被害が生じる恐れのある製品回収 (リコール) 件数※2	0件	0件	● Quality Cultureの醸成活動の推進 ● ファーマコビジランス体制の強化
	⑥ サプライチェーンマネジメントの強化 📄 P.34	・製品の欠品ゼロに向けた仕組みづくり ・継続的な重要サプライヤー評価と対話	EcoVadisによるアセスメントを行った会社数 直接材重要サプライヤーの行動規範※3への同意割合	累計164社 100%	累計150社 97%	● 環境・人権・労働安全衛生に関するサプライヤーアセスメントの実施 ● 販売、供給、生産機能の連携強化 ● 物流基盤の強化
	⑦ 人権の尊重 📄 P.68	・人権デューディリジェンスの継続実施	サプライヤーとの対話件数 人権教育受講率 人権に関する苦情件数	6件 95.7% 0件	6件 95.7% 0件	● 現代奴隷法に関する声明文の開示 ● 重要4品目のサプライヤーとの対話 ● ビジネスと人権に関する教育研修の実施
	⑧ 環境への配慮 📄 P.66、87	・「SHIONOGIグループEHS行動目標」(環境)の達成	温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ1・2:マーケットベース) 総エネルギー消費量 再生可能エネルギー利用率	60,168 tCO2 333,034 MWh 62.7%	63,057 tCO2 332,865 MWh 55.8%	● 再生可能エネルギー由来電力の導入事業所拡大 ● 抗菌薬製造に関する国際認証の取得
経営基盤を強化するために 取り組む重要課題	⑨ 成長を支える人材の育成・確保 📄 P.52、85	・競争力のある多様な人材の確保 ・グローバル人材の育成 ・マネジメント人材の多様化 ・「SHIONOGIグループEHS行動目標」(安全衛生)の達成 ・健康経営目標の達成	1人当たりの教育研修費 自己投資支援制度利用率 女性マネジャー比率 度数率 健康診断受診率 喫煙率	11.0万円 59.6% 16.4% 0.38 100% 2.8%	9.8万円 55.0% 16.4% 0.13 100% 3.0%	● 多様な働き方を支える人事制度の設計と導入 ● 主体的な学びとキャリア形成に取り組める制度の拡充
	⑩ コンプライアンスの遵守 📄 P.82	・コンプライアンス活動およびプロモーション活動のモニタリング	「SHIONOGIグループコード・オブ・コンダクト」の理解浸透施策の実施 Global Compliance & Quality Weekの実施	グローバルで統一された「SHIONOGIグループコード・オブ・コンダクト」の制定 Global Compliance & Quality Weekの実施	● 「SHIONOGIグループコード・オブ・コンダクト」の教育実施 ● Global Compliance & Quality Weekの実施	
	⑪ ガバナンスの強化 📄 P.70	・取締役会の実効性評価の実施と継続的な改善施策の実施	監査等委員会から取締役会への定期フィードバックの実施 株主・投資家と社外取締役との対話の実施	監査等委員会設置会社への移行 株主・投資家と社外取締役との対話の実施	● 取締役会および監査等委員会の実効性評価の実施 ● 指名諮問委員会での社長のパフォーマンスレビューの実施 ● 執行役員を対象とした経営人材評価の実施	

※1 実績の算定範囲の詳細は、各ページをご参照ください

※2 クラスI製品回収

※3 「SHIONOGIグループビジネスパートナーに求める行動規範」